

# 消防団施設 (器具置場)

## 個別施設計画

令和3年(2021年)6月

越谷市

## 目次

1. 個別施設計画における基本的事項 .....	1
(1) 計画策定の背景とこれまでの取組み .....	1
(2) 計画策定の目的 .....	1
(3) 計画の位置付け .....	1
(4) 計画期間 .....	1
2. 対策の優先順位の考え方 .....	2
(1) 優先度の設定 .....	2
(2) 優先度の考え方 .....	2
(3) 施設の優先順位 .....	3
3. 対象施設・施設の状態 .....	4
4. 計画期間内 (R3 (2021) ~R7(2025) )における取組内容.....	11

## Ⅰ. 個別施設計画における基本的事項

### (1) 計画策定の背景とこれまでの取組み

市では、公共建築物（以下、「施設」という。）の老朽化対策として平成27年（2015年）3月に「越谷市公共施設等総合管理計画 基本方針（以下、「総合管理計画」という。）」を策定し、総合管理計画の基本方針に沿った取組みを具体化するために、施設の「今後の方向性」と、短期的に着手する取組みを「行動計画」として整理した「越谷市公共施設等総合管理計画 第1次アクションプラン（以下、「アクションプラン」という。）」を令和元年（2019年）7月に策定しました。

### (2) 計画策定の目的

消防団施設（器具置場）の個別施設計画（以下、「本計画」という。）は前述の背景を踏まえ、持続可能な行政サービスを確保するため、施設ごとの修繕、改修、更新を計画的に行うことを目的として策定しました。

### (3) 計画の位置付け

本計画は総合管理計画及びアクションプランに基づき策定しました。

### (4) 計画期間

本計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

計画期間中は人口や歳入等の変動が予測されるので、その推移を見ながら計画の見直しを行います。その時点での現状を踏まえた計画とすることで、持続的に公共サービスを提供できるように取り組めます。

## 2. 対策の優先順位の考え方

### (1) 優先度の設定

老朽化対策としては、現在の劣化状況に応じて施設の修繕・改修を行うこととしますが、複数施設の建設時期が集中する場合、限られた財源の中で全ての対策を講じることは困難と予測されます。

そのため対策を実施するにあたり、優先順位を付け、対策の実施時期を前倒し、あるいは後ろ倒しするなどして、財政負担の平準化を図ります。

また、経年劣化に対し、築年数が古い建築物から改修等を優先的に検討すべきですが、これまで適正な時期に改修が行われず、既に大規模改修の時期を経過した施設があるため、築年数だけでなく、施設の耐震性の有無、劣化度（特に構造体や屋根、外壁等の建築物の寿命に直接影響を与える部位）、重要度（防災拠点・指定避難所など）、利用状況などを踏まえ改修等の優先度を総合的に検討し、短期間に財政負担が集中しないように調整を図ります。



### (2) 優先度の考え方

下図の考え方にに基づき施設類型ごと（または所管施設ごと）に優先度を設定し、対策の優先順位を決定します。

$$\text{優先度} = \text{築年数} + \text{耐震性} + \text{劣化状況}$$

(3) 施設の優先順位

上記の考え方にに基づき優先度別に施設をカテゴリーで仕分け、優先順位を決定します。

優先度	施設名	優先度の考え方
高   低	I 桜井分団第2部器具置場・大袋分団第3部器具置場・ 荻島分団第2部器具置場・出羽分団第3部器具置場・ 蒲生分団第4部器具置場・大相模分団第2部器具置 場・増林分団第4部器具置場	旧耐震基準（昭和56年以前）の施設で耐震診断や耐震改修をしていない施設または、建替えを予定している施設
	II 越ヶ谷分団第2部器具置場・大沢分団第1部器具置 場・大沢分団第2部器具置場・桜井分団第1部器具置 場・桜井分団第3部器具置場・桜井分団第5部器具置 場・桜井分団第6部器具置場・出羽分団第2部器具置 場・蒲生分団第2部器具置場（複合施設）・蒲生分団 第3部器具置場・川柳分団第1部器具置場・大相模分 団第1部器具置場・大相模分団第4部器具置場・増林 分団第7部器具置場・新方分団第1部器具置場・新方 分団第3部器具置場（複合施設）	築20年以上経過し、中規模修繕等が行われていない施設
	III 越ヶ谷分団第1部器具置場・桜井分団第4部器具置 場・大袋分団第1部器具置場・大袋分団第2部器具置 場・大袋分団第4部器具置場・荻島分団第1部器具置 場（複合施設）・荻島分団第3部器具置場・出羽分団 第1部器具置場（複合施設）・出羽分団第4部器具置 場・出羽分団第5部器具置場・蒲生分団第1部器具置 場・川柳分団第2部器具置場・大相模分団第3部器具 置場・増林分団第1部器具置場・増林分団第2部器具 置場・増林分団第3部器具置場（複合施設）・増林分 団第5部器具置場・増林分団第6部器具置場・新方分 団第2部器具置場	築20年未満の施設または、計画的に中規模修繕や大規模改修（耐震改修を含む）等が行われている施設

### 3.対象施設・施設の状態

1	越ヶ谷分団第1部器具置場	延床面積	86.92 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H24 (2012)	
		構造	木造	
		【施設の状態】		
・健全である。				
2	越ヶ谷分団第2部器具置場	延床面積	22.93 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H元 (1989)	
		構造	木造	
		【施設の状態】		
・門扉に腐食(サビ)が見られる。				
・軒裏に剥離が見られる。				
3	大沢分団第1部器具置場	延床面積	9.72 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H8 (1996)	
		構造	軽量鉄骨造	
		【施設の状態】		
・健全である。				
4	大沢分団第2部器具置場	延床面積	28.80 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H7 (1995)	
		構造	軽量鉄骨造	
		【施設の状態】		
・換気扇フードのカバーが損傷している。				
5	桜井分団第1部器具置場	延床面積	9.72 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H9 (1997)	
		構造	木造	
		【施設の状態】		
・健全である。				
6	桜井分団第2部器具置場	延床面積	9.72 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	S55 (1980)	
		構造	木造	
		【施設の状態】		
・舗装にひび割れが見られる。				

7	桜井分団第3部器具置場	延床面積	9.72 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H8 (1996)	
		構造	軽量鉄骨造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
8	桜井分団第4部器具置場	延床面積	86.92 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H23 (2011)	
		構造	木造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
9	桜井分団第5部器具置場	延床面積	22.68 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	S61 (1986)	
		構造	木造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
10	桜井分団第6部器具置場	延床面積	19.44 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H3 (1991)	
		構造	木造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
11	大袋分団第1部器具置場	延床面積	23.19 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H25 (2013)	
		構造	木造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
12	大袋分団第2部器具置場	延床面積	39.74 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H19 (2007)	
		構造	軽量鉄骨造	
		【施設の状態】 ・案内板に腐食(サビ)が見られる。		
13	大袋分団第3部器具置場	延床面積	19.44 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	S47 (1972)	
		構造	軽量鉄骨造	
		【施設の状態】 ・外壁にサビによる汚れ及び破損が見られる。 ・雨どい(縦どい)の取付不良が見られた。		

14	大袋分団第4 部器具置場	延床面積	89.43 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H20 (2008)	
		構造	木造	
		【施設の状態】		
・フェンス（木製）が腐食し、破損が見られる。				
15	荻島分団第1 部器具置場 （荻島地区セ ンター併設）	延床面積	45.00 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H17 (2005)	
		構造	鉄筋コンクリート造	
		【施設の状態】		
・地区センター併設のため、地区センターと同様。				
16	荻島分団第2 部器具置場	延床面積	9.72 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	S55 (1980)	
		構造	木造	
		【施設の状態】		
・外壁の破損が見られる。			・軒裏の剥離が見られる。	
17	荻島分団第3 部器具置場	延床面積	89.42 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H14 (2002)	
		構造	軽量鉄骨造	
		【施設の状態】		
・外壁にひび割れが見られる。			・雨どい（縦どい）の取付不良が見られる。	
18	出羽分団第1 部器具置場 （出羽地区セ ンター併設）	延床面積	78.00 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H25 (2013)	
		構造	鉄骨造	
		【施設の状態】		
・地区センター併設のため、地区センターと同様。				
19	出羽分団第2 部器具置場	延床面積	22.35 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	S62 (1987)	
		構造	木造	
		【施設の状態】		
・舗装にひび割れが見られる。				
20	出羽分団第3 部器具置場	延床面積	9.72 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	S53 (1978)	
		構造	木造	
		【施設の状態】		
・舗装にひび割れが見られる。			・雨どい（縦どい）の取付不良が見られる。	



21	出羽分団第4部器具置場	延床面積	86.92 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	R2 (2020)	
		構造	木造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
22	出羽分団第5部器具置場	延床面積	86.92 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H29 (2017)	
		構造	木造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
23	蒲生分団第1部器具置場	延床面積	86.92 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H28 (2016)	
		構造	木造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
24	蒲生分団第2部器具置場 (蒲生地区センター併設)	延床面積	25.31 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H9 (1997)	
		構造	鉄筋コンクリート造	
		【施設の状態】 ・地区センター併設のため、地区センターと同様。		
25	蒲生分団第3部器具置場	延床面積	19.44 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H4 (1992)	
		構造	木造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
26	蒲生分団第4部器具置場	延床面積	9.72 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	S53 (1978)	
		構造	木造	
		【施設の状態】 ・舗装にひび割れ及び段差が見られる。 ・マンホールに段差が見られる。		
27	川柳分団第1部器具置場	延床面積	19.44 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	S57 (1982)	
		構造	木造	
		【施設の状態】 ・健全である。		

28	川柳分団第2部器具置場	延床面積	86.92 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	R元(2019)	
		構造	木造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
29	大相模分団第1部器具置場	延床面積	89.42 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H11(1999)	
		構造	軽量鉄骨造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
30	大相模分団第2部器具置場	延床面積	24.57 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	S52(1977)	
		構造	木造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
31	大相模分団第3部器具置場	延床面積	39.74 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H16(2004)	
		構造	軽量鉄骨造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
32	大相模分団第4部器具置場	延床面積	19.44 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	S63(1988)	
		構造	木造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
33	増林分団第1部器具置場	延床面積	39.74 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H22(2010)	
		構造	木造	
		【施設の状態】 ・健全である。		
34	増林分団第2部器具置場	延床面積	42.03 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H18(2006)	
		構造	軽量鉄骨造	
		【施設の状態】 ・健全である。		

35	増林分団第3 部器具置場 (増林地区セ ンター併設)	延床面積	81.00 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H18 (2006)	
		構造	鉄筋コンクリート造	
		【施設の状態】		
			・地区センター併設のため、地区センターと同様。	
36	増林分団第4 部器具置場	延床面積	9.72 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	S43 (1968)	
		構造	木造	
		【施設の状態】		
			・軒裏に剥離が見られる。	
37	増林分団第5 部器具置場	延床面積	89.42 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H13 (2001)	
		構造	軽量鉄骨造	
		【施設の状態】		
			・健全である。	
38	増林分団第6 部器具置場	延床面積	39.74 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H20 (2008)	
		構造	木造	
		【施設の状態】		
			・健全である。	
39	増林分団第7 部器具置場	延床面積	9.72 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H9 (1997)	
		構造	木造	
		【施設の状態】		
			・健全である。	
40	新方分団第1 部器具置場	延床面積	19.44 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	S57 (1982)	
		構造	木造	
		【施設の状態】		
			・雨どい（縦どい）に凹みが見られる。 ・階段に腐食（サビ）が見られる。	
41	新方分団第2 部器具置場	延床面積	86.92 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	R元 (2019)	
		構造	木造	
		【施設の状態】		
			・健全である。	

42	新方分団第3 部器具置場 (新方地区セ ンター併設)	延床面積	38.50 m <sup>2</sup>	【備考】
		建築年度	H10 (1998)	
		構造	鉄筋コンクリート造	
		【施設の状態】		
			・地区センター併設のため、地区センターと同様。	

#### 4. 計画期間内（R3（2021）～R7（2025））における取組内容

施設名	取組内容
越ヶ谷分団第1部器具置場	
越ヶ谷分団第2部器具置場	
大沢分団第1部器具置場	建替え
大沢分団第2部器具置場	中規模修繕
桜井分団第1部器具置場	中規模修繕
桜井分団第2部器具置場	大規模改修
桜井分団第3部器具置場	中規模修繕
桜井分団第4部器具置場	
桜井分団第5部器具置場	
桜井分団第6部器具置場	
大袋分団第1部器具置場	西大袋地区拠点施設の建設に合わせて 複合化の検討
大袋分団第2部器具置場	
大袋分団第3部器具置場	
大袋分団第4部器具置場	
荻島分団第1部器具置場 （荻島地区センター併設）	中規模修繕
荻島分団第2部器具置場	建替え
荻島分団第3部器具置場	中規模修繕
出羽分団第1部器具置場 （出羽地区センター併設）	
出羽分団第2部器具置場	
出羽分団第3部器具置場	大規模改修
出羽分団第4部器具置場	
出羽分団第5部器具置場	
蒲生分団第1部器具置場	
蒲生分団第2部器具置場 （蒲生地区センター併設）	中規模修繕
蒲生分団第3部器具置場	
蒲生分団第4部器具置場	建替え
川柳分団第1部器具置場	建替え
川柳分団第2部器具置場	
大相模分団第1部器具置場	中規模修繕

施設名	取組内容
大相模分団第2部器具置場	建替え
大相模分団第3部器具置場	中規模修繕
大相模分団第4部器具置場	
増林分団第1部器具置場	
増林分団第2部器具置場	
増林分団第3部器具置場 (増林地区センター併設)	
増林分団第4部器具置場	大規模改修
増林分団第5部器具置場	中規模修繕
増林分団第6部器具置場	
増林分団第7部器具置場	中規模修繕
新方分団第1部器具置場	大規模改修
新方分団第2部器具置場	
新方分団第3部器具置場 (新方地区センター併設)	中規模修繕



**消防団施設（器具置場）  
個別施設計画**

---

作成日：令和3年（2021年）6月

作成：越谷市消防局警防課